



2026年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小野 信哉 TEL 022-243-5091
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	17,842	2.8	922	△7.0	963	△7.9	637	△8.1
2025年3月期第3四半期	17,361	3.7	992	33.5	1,046	32.2	693	27.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	90.39	—
2025年3月期第3四半期	98.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	18,009	8,085	44.9	1,146.05
2025年3月期	16,368	7,386	45.1	1,046.91

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,085百万円 2025年3月期 7,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2026年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	0.4	670	1.3	740	1.2	422	26.2	59.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	7,275,500株	2025年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	220,000株	2025年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	7,055,500株	2025年3月期3Q	7,055,500株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調となりました。個人消費は持ち直しの動きがみられる一方、それを上回る物価上昇の影響や金融資本市場の変動等が景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、原材料価格及びエネルギー価格の高騰、並びに物価高の長期化に伴い顧客の節約意識が高まっており、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『熱意は力なり（何事も目標を成し遂げるのは能力ではなく「熱意」である）』を掲げました。常に変化し続ける顧客のニーズに応えるべく「売上の拡大」と「リピーターの確保」に熱意を持って努めて参りました。

当第3四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが6店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレーゼが4店舗、買取大吉が1店舗の合計124店舗となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は17,842百万円となり、前年同期間比480百万円（前年同期間比2.8%増）の増収となっております。経常利益につきましては963百万円となり、前年同期間比83百万円（前年同期間比7.9%減）の減益となりました。四半期純利益は637百万円となり、前年同期間比56百万円（前年同期間比8.1%減）の減益となりました。増収の要因は主として、イエローハット事業及びアップガレージ事業において、スタッレススタイルの販売が好調に推移したことによるものであります。一方、減益の要因は主として、イエローハット事業における仕入価格の高騰に伴う売上原価の増加により売上総利益は横ばい、各種費用の増加により減益となっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、「車検の拡大」及び「サービス売上の拡大」に注力するとともに、アプリ会員をはじめとした「作業予約」を積極的に促進することにより会員獲得を強化し、業務の効率化に努めて参りました。WEB作業予約の件数が増加したことにより来店客数が安定したことに加え、スタッレススタイルの販売が好調に推移したものの、特にタイヤの仕入価格の高騰に伴う売上原価の増加により、利益面では前年同期間を大きく下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,954百万円（前年同期間比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,047百万円（前年同期間比12.0%減）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を行い販売に注力したものの、2店舗退店の影響もあり、当第3四半期累計期間の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,012百万円（前年同期間比10.9%減）、セグメント損失（営業損失）は23百万円（前年同期間は53百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、収益構造の見直しを継続的に進めるとともに、業務の効率化を図ることで粗利率の向上に注力して参りました。スタッレススタイルの販売が好調に推移したことに加え、前年同期間に退店準備に伴いアップガレージ秋田店が約1ヶ月休業していた影響もあり、当第3四半期累計期間の売上高・営業利益ともに好調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高944百万円（前年同期間比5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は148百万円（前年同期間比36.4%増）となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、前年同期間の出店ラッシュを経て各事業ともに落ち着いて店舗運営に注力できる環境が整って参りました。

ダイソー事業は、物価高に伴う節約・低価格志向が継続したことにより、売上高は好調に推移致しました。

カーセブン事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業、保険事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

宝くじ事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,931百万円（前年同期間比11.6%増）、セグメント利益（営業利益）は96百万円（前年同期間比17.5%増）となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,639百万円増加し、9,421百万円（前事業年度末7,782百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が1,508百万円及び売掛金が116百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は2百万円増加し、8,588百万円（前事業年度末8,585百万円）となっております。これは主に、投資その他の資産が2百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は18,009百万円（前事業年度末16,368百万円）となっております。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,275百万円増加し、7,419百万円（前事業年度末6,143百万円）となっております。これは主に、未払費用（その他の流動負債）が116百万円減少したものの、短期借入金が1,100百万円及び買掛金が265百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は333百万円減少し、2,504百万円（前事業年度末2,838百万円）となっております。これは主に、長期借入金が274百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は9,923百万円（前事業年度末8,981百万円）となっております。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は699百万円増加し、8,085百万円（前事業年度末7,386百万円）となっております。これは主に、四半期純利益を637百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日の「2025年3月期 決算短信」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,175,427	2,684,251
売掛金	743,603	860,601
商品	5,417,477	5,498,422
貯蔵品	3,064	3,551
その他	442,842	374,649
流动資産合計	7,782,414	9,421,475
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,859,274	2,760,913
土地	2,549,817	2,570,817
その他（純額）	851,911	932,143
有形固定資産合計	6,261,003	6,263,874
無形固定資産	20,677	18,367
投資その他の資産	2,303,923	2,306,129
固定資産合計	8,585,604	8,588,372
資産合計	16,368,019	18,009,847
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,013,906	1,279,505
短期借入金	3,250,000	4,350,000
1年内返済予定の長期借入金	429,988	409,988
未払法人税等	209,942	235,451
賞与引当金	99,166	13,750
契約負債	291,670	279,240
その他	848,721	851,129
流动負債合計	6,143,396	7,419,065
固定負債		
長期借入金	820,460	545,885
退職給付引当金	1,612,165	1,552,852
役員退職慰労引当金	170,355	172,718
資産除去債務	185,812	188,248
その他	49,322	45,122
固定負債合計	2,838,115	2,504,826
負債合計	8,981,511	9,923,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,989,416	5,556,578
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,292,326	7,859,488
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,181	226,467
評価・換算差額等合計	94,181	226,467
純資産合計	7,386,507	8,085,956
負債純資産合計	16,368,019	18,009,847

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,361,868	17,842,204
売上原価	9,503,267	9,921,114
売上総利益	7,858,600	7,921,090
販売費及び一般管理費	6,865,788	6,998,167
営業利益	992,811	922,922
営業外収益		
受取配当金	8,494	13,132
受取手数料	15,209	14,772
受取保険料	10,728	14,050
産業廃棄物収入	17,066	15,918
その他	26,125	16,889
営業外収益合計	77,624	74,762
営業外費用		
支払利息	19,010	30,912
その他	4,731	3,204
営業外費用合計	23,742	34,117
経常利益	1,046,694	963,567
特別利益		
固定資産売却益	30	—
投資有価証券売却益	—	914
特別利益合計	30	914
特別損失		
固定資産除却損	136	15
特別損失合計	136	15
税引前四半期純利益	1,046,588	964,467
法人税、住民税及び事業税	222,076	223,936
法人税等調整額	130,697	102,813
法人税等合計	352,773	326,750
四半期純利益	693,814	637,717

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※ 当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッズレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっています。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	312,137千円	310,780千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,599,870	1,136,439	894,491	15,630,802	1,731,066	17,361,868	—	17,361,868
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,669	1,238	674	20,582	16,025	36,607	△36,607	—
計	13,618,539	1,137,678	895,166	15,651,384	1,747,091	17,398,475	△36,607	17,361,868
セグメント利益 又は損失 (△)	1,190,115	△53,705	108,903	1,245,312	81,930	1,327,243	△334,431	992,811

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△334,431千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,954,646	1,012,024	944,205	15,910,875	1,931,329	17,842,204	—	17,842,204
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,765	1,086	379	23,232	18,757	41,989	△41,989	—
計	13,976,411	1,013,110	944,585	15,934,107	1,950,086	17,884,194	△41,989	17,842,204
セグメント利益 又は損失 (△)	1,047,293	△23,666	148,534	1,172,161	96,278	1,268,440	△345,517	922,922

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カーセブン事業、ダイソー事業、コメダ事業、シャトレーゼ事業、買取大吉事業、不動産賃貸事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△345,517千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。